

通常の性行動と性的問題行動

CSP（性的問題行動）の対応は、法令を遵守しつつ、それぞれの状況に応じた丁寧で柔軟なアプローチが求められます。適切で効果的な対応を行うために、専門家との連携が必要となることもあります。

ここで示されている一部の性的問題行動は、法的な違反行為に該当する可能性があります。それぞれの国の該当機関への連絡が必要な場合があります。

子ども（0～12歳）

通常の行動

- ・ 同年齢の子ども同士による一時的な身体の探索的な遊び（遊びの一環として自然に行われるもの）
- ・ プライベートな空間でのマスターベーション（自慰行為）

心配な行動

- ・ 性に対する過度なこだわり
- ・ 年齢にふさわしくない性的な言葉の使用
- ・ プライベートではない場所で繰り返し自慰を行う

性的問題行動

- ・ 無理やり性的接触をする
- ・ ポルノの内容を模倣または再現するような性的行為
- ・ 年齢に不相応な性行為に関する詳細な知識

ティーンエイジャー（13～17歳）

通常の行動

- ・ 性に対する好奇心
- ・ 友人同士での性に関する会話
- ・ 同年齢のパートナーとの同意に基づく探索的な性的経験
- ・ プライベートな場所での自慰行為

心配な行動

- ・ 過度に性的な態度や言動
- ・ ポルノの過剰な視聴や依存的な使用
- ・ 状況にそぐわない性的な振る舞い
- ・ 見返りを期待して性的関係を持つ行動や誘い

性的問題行動

- ・ 強制的な性的接触
- ・ 性的嫌がらせ（ハラスメント）
- ・ 強迫的もしくは過剰な性行動（ハイパーセクシュアリティ）
- ・ プライベートではない場所での自慰行為
- ・ アルコール下での性的行為
- ・ 物やサービスと引き換えに性的行為を行うこと
- ・ かなり年下の相手、発達段階に大きな違いがある相手との性的関係

警戒すべきサイン（危険信号）

行動面のサイン

子ども：年齢に見合わない性的な言葉遣い、過度に性的接触を求める行動、性的な遊びを強制する行動。

ティーン：公共の場で洋服を脱ごうとする行為、社会的に許容される範囲を気にせず繰り返す性的行動、性的な関わりをしつこく求める行動。

感情面のサイン

子ども／ティーン：引きこもり傾向、無口、他人との関わりを避ける、夜間の不安、攻撃性の増加、性に関する混乱した感情や羞恥心、身体や性に関する心配な発言。

身体的なサイン

子ども／ティーン：性器周辺の原因不明の痛みやけが、原因不明の頻繁な感染症、引っかき傷や拘束されたような痕跡。

性的問題行動を引き起こすリスク要因

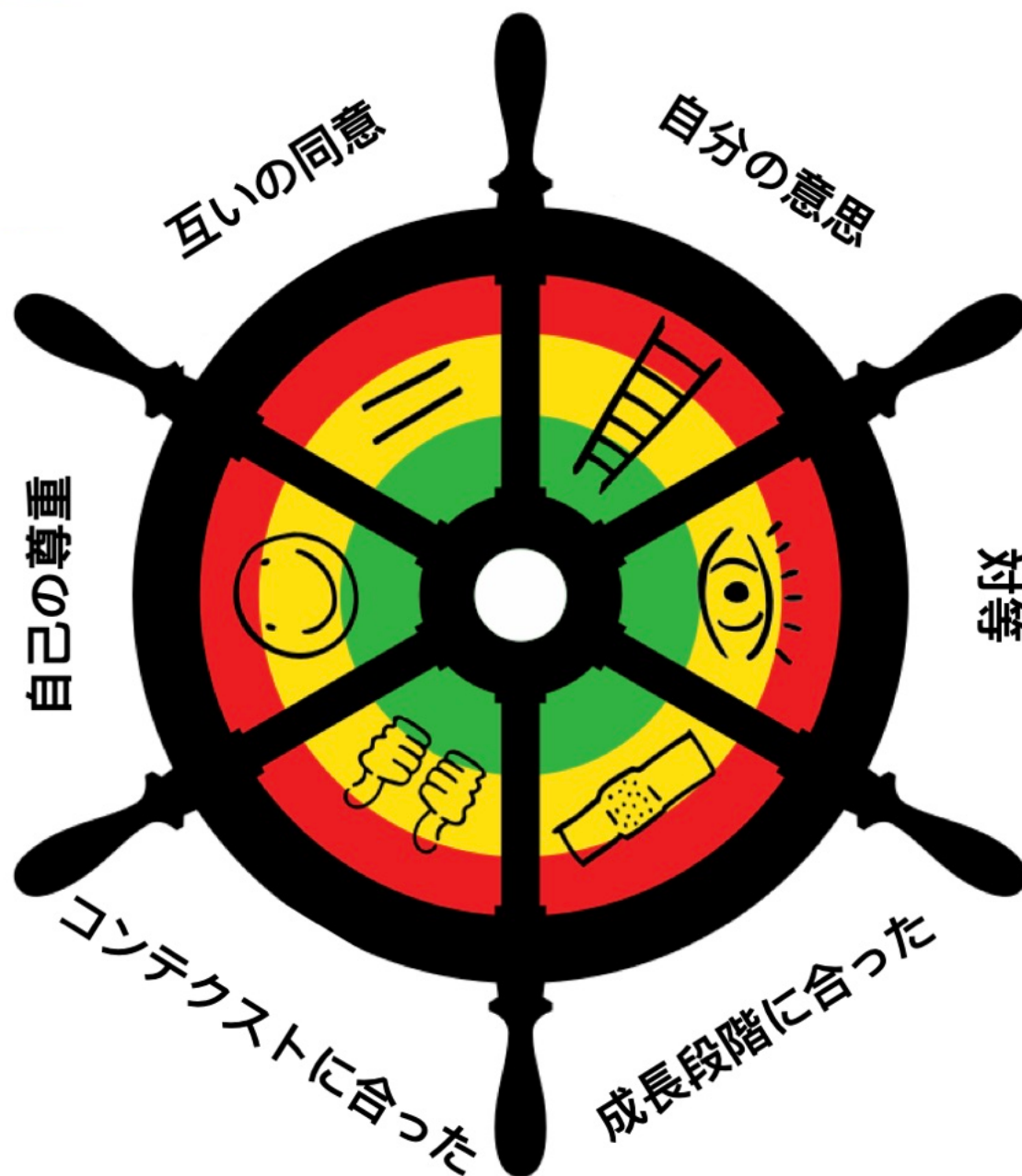
個人的な要因

- 子ども時代に暴力を受けている（性暴力を含む）。
- 神経発達トラブル（自閉スペクトラム症、知的障害）。
- ポルノの早期かつ反復的な視聴。
- 行動トラブル（攻撃性、衝動性）。
- 過去の性的問題行動に対し不適切な対応がされた経験（矮小化、一般化など）。

家庭・社会的な要因

- 機能不全の家庭環境、近親相姦的な空気のある家族。
- 適切な性教育の欠如。
- 性的な行動が普通のこととして扱われている環境にいる。
- 教育上不適切なコンテンツへの過剰な接触（SNS、テレビドラマ、テレビ番組など）。

性的行動の分析指標



緑の旗（グリーンフラッグ）
ポジティブな性的行動

赤の旗（レッドフラッグ）
問題がある性的行動

黄色の旗（イエローフラッグ）
軽度で一度きりの不適切な性的行動

黒の旗（ブラックフラッグ）
重大で深刻な性的行動

性的問題行動への対応

ステップ1: 観察と分析

- 行動の頻度、コンテキスト、行動の変化について把握する。
- 強制や苦痛のサインがないか確認する。

ステップ2: 明確な教育的枠組みを提示する

- 年齢やコンテキストに応じた適切な制限、許可されていること・禁止されることについて確認する。
- 必要に応じた教育的な関わりを行う。

ステップ3: 必要に応じて専門機関に連絡する

- 同僚や上司に情報を共有する。
- 問題行動が継続または心配な場合、専門の医療機関に相談し、つなぐ。
- 危険がある場合や法に触れる場合（疑いも含む）、該当機関に連絡する。